金曜日

リビングひろしま1/27号に技術短期大学校が掲載されました！

〝ものづくり〟のスペシャリストを養成 | 最先端技術を習得 | 学費は2年間で約100万円 | 就職率は驚きの100%

進路に迷っている人
〝ものづくり〟を学びたい人
技術を身に付けたい人
集まれ

やりたいことがココにある！

広島県立技術短期大学校

- ▶やりたいことがココでできた
- ▶役立つ知識や実践的な技術が身に付いた
- ▶他ではできない経験が楽しかった
- ▶〝もの〟を作る面白さを知った
- ▶好きなことが仕事につながった

そんなふうに学生生活を振り返るのは、卒業を間近に控えた、技術短期大学校の2年生の皆さん。「〝ものづくり〟のスペシャリスト」を養成する同校で、やりたいことを見つけ、好きを仕事にしたり、さらなるスペシャリストを目指して進学を決めています。あなたもまずは同校を訪れてみませんか。

少人数制で実習重視 即戦力となる技術者を育成

機械部品の設計・製図・加工などができる機械技術者を目指す「機械システム技術科」と、生産設備の設計・製作・保守などが行える電気技術者を目指す「制御システム技術科」がある広島県立技術短期大学校。〝ものづくり〟の現場で必要なさまざまな知識や技術を2年間で実践的に学べ、即戦力として活躍できる人材を育成しています。

1科15人定員の少人数制で、学生一人一人のペースに合わせたきめ細かな指導が魅力。IoTやAIなどの第4次産業革命に対応した最先端技術を習得するための授業も行っています。

授業の約6割が実習というのも、強みの一つ。実際に企業で使われている機器や機材を使った実習を実施。「現場経験豊富な職員が多く、より現場に即した指導ができるのも強みです」と機械システム技術科の赤岩先生。また、制御システム技術科の植松先生は「グループで1つのテーマや課題を行うことで、さまざまな人と連携してコミュニケーションをとりながら進めていく力が身に付きます。チームワークが必要な企業での仕事にも役立っています」と話します。

魅力的な学費で経済的にも安心

2年間で約100万円という魅力的な学費で、経済的な不安を解消し、学びに専念できるのも、同校の魅力の一つです。

2年生の末岡さんは、「少ない学費で、いろいろなことが勉強できるのは大きなメリット。学生主体でレーザー加工などの機械を操作できたのも、大きな経験になりました。親に負担をあまりかけず、やりたいことができて充実しています。学んだことが活（い）かせる職場への就職が決まり、夢がかないました」と話します。

制御システム技術科

植松 雄輔 先生

工場をイメージした自動化設備の製作、制御プログラム、制御盤組み立てなどを学び、さらにデジタル技術の習得を目指します。何もないところから機械を設計し、プログラムを作り、加工し、組み立てて動かしていく…という一連の流れを体験することで、〝ものづくり〟ってこんなに楽しいんだということを実感してほしいですね。

右は工場を小型化した実習装置。上は機器の配置などを一から作成

工場の自動化システムをプログラムで動かす

「Python」という言語を使ったプログラミング

3次元CADで配置などを立体的に設計し、2次元CADで電気の制御などを設計します

ハード&ソフト両面の設計を実習

社会保険制度など、社会人として知っておくべき基礎知識も学びます

実習に加え、座学での授業も充実

「技能フェア」に出展したサッカーゲーム。高校生にプログラムを体験してもらうためのゲームで、同科で学んだ技術の全てを詰め込んでいます

〝学び直し〟ができる場所

制御システム技術科2年
北山優大さん

県外の大学に通っていましたが、3年で退学し、地元に帰ってきたとき、母から僕の好きな機械について学べる短期大学校があると教えられました。高校のころからパソコンなど制御する分野に興味がありましたが、制御に特化した学校であまりなく諦めていました。ここにはそれがあると知って、やっと見つけた！って感じでした。やりたいことができる場所に出合えて、実際にできたときはうれしかったですね。そんな場所を見つけてくれた母に感謝しています。学び直しをしたいひや、物を動かしてみたいひにはオススメです。

卒業製作は乾電池で動く電気自動車を作成中。「イベントなどで多くの人に乗ってもらいたい」と頑張っています

制御システム技術科では 競技大会に挑戦

「考える授業」の中で身に付いた知識や技術を生かすため県内外のさまざまな競技大会へ参加。毎年、鈴鹿サーキットで行われる「Ene-1challenge」には、学生たちが自ら作った車で出場。2022年には「大学・専門学校の部」（重量制限のあるクラス）で優勝。

優勝 鈴鹿サーキット「Ene-1 challenge」単三電池で動くモーターカー

単三乾電池40本で動く電気自動車。鈴鹿サーキットを疾走しました

若年者ものづくり競技大会2022年に参加

技能を習得中の20歳以下の若者の技能レベルを競う競技会に出場。2人1組で生産システムを構築します

卒業生が「㈱あじかん」就職

様式会社あじかん

人事部の小野慶和さんに聞きました

実践的な技術で即戦力に 人柄の良さも魅力

弊社は、全国に5つの自社工場を持ち、5工場全てに設備管理課という機械・電気に関する専門部署があります。工場機械が円滑に動くようユーティリティーの管理や機器の修理などを担当する部署です。技術短期大学校では実務の授業で実践的に学んでいるので、すんなりと業務に携わることができ、即戦力として活躍してくれています。また、人柄の良い学生さんが多いと思います。真面目で誠実、忍耐力や根性もあり、打たれ強さも持っています。技術面はもちろん、そういう人柄の良さも大きな魅力ですね。賛助会員として毎年インターンシップも受け入れており、今後も短期大学校と連携していければと思っています。

製造業をはじめ幅広い就職先 開校以来、就職率100%を継続

2009年度の開校以来、就職率100%を継続する同校。地元企業で組織する賛助会（149社）が、インターンシップの受け入れや就職を全面的にバックアップしています。

「身に付けた知識や技術は、営業など」の他の場面でも役立つことが多く、製造業だけでなく、さまざまな業種・職種に就職していますと赤岩先生。「2年生では約半年かけて試行錯誤しながら卒業製作に取り組み、それが達成感や成功体験となって自信を持って就職できているようです。」卒業生は設計やプログラミング、作画やデザインなど、幅広いフィールドで活躍しています。さらに専門的な知識や技術を学ぶため、職業能力開発大学校へ進む道もあります」と植松先生は話します。

まだ間に合う！ 2023年度入学生募集　対象は30歳まで

詳細はHPで▶▶▶▶▶▶▶

オープンキャンパスの申し込み・入試情報など、詳細はHPで

技術短大広島　検索

オープンキャンパス 2/4(土)

まずはオープンキャンパスで、学校のことを詳しく知りましょう
高校1・2年生の参加もOK
保護者もぜひ来場を

◆2月4日(土) 13:00～
- 各学科の概要説明
- 施設と設備の見学
- 模擬授業の体験

一般入試 2/10(金) 3/14(火)

◆一般入学試験1　試験日／2月10日(金)　出願期間／1月30日(月)まで
◆一般入学試験2　試験日／3月14日(火)　出願期間／2月10日(金)～3月3日(金)
◆試験科目　筆記試験（数学Ⅰ）、面接試験
◆応募資格　2023年4月1日時点で30歳以下の高卒以上の人

問い合わせ
広島県立技術短期大学校 教務課
☎082(273)2201
西区田方2-25-1
※広島バスセンターからバスで約30分
「広島高等技術専門校前」バス停下車、徒歩約3分